

「平成24年度 北陸農政局ストックマネジメント技術高度化事業」
における対策工法の提案について

募 集 要 領

平成24年 5月

北陸農政局

1. 目的

ストックマネジメント技術高度化事業は、国営土地改良事業により造成された施設の長寿命化を図るため、施設の診断、劣化予測、評価手法の確立、及び対策工法の有効性や耐久性の検証など、機能保全計画を作成するにあたって必要となる技術を現地での実践を通して確立し、ストックマネジメント技術の高度化を図ることを目的としております。

このため、北陸農政局管内で実施を予定している実証試験の対策工法の選定の参考とするため公募を行うものです。

2. 募集工法対象内容及び募集期間

別紙（平成24年度 北陸農政局ストックマネジメント技術高度化事業 対策工法予定実証試験内容）を参照願います。

3. 提案資料の取り扱い等

- ① スtockマネジメント技術高度化事業により、実証すべき対策工法の選定にあたって参考とするものです。
- ② 応募された工法を検証することとなった場合、提案者が施工することを保証するものではありません。

4. 提案書の提出方法

提案書に必要事項を記入の上、下記（5. 提案書の提出先）まで、メール、FAX等にて送付願います。

5. 提案書の提出先

〒951-8133
新潟県新潟市中央区川岸町1-49-3
北陸農政局 信濃川水系土地改良調査管理事務所 保全計画課長 佐藤嘉康
TEL：025-231-5141
FAX：025-231-6986
e-mail : yoshiyasu_sato@hokuriku.maff.go.jp

6. 問い合わせ先

〒951-8133
新潟県新潟市中央区川岸町1-49-3
北陸農政局 信濃川水系土地改良調査管理事務所 保全計画課 防災情報推進係
渡部 学
TEL：025-231-5141
FAX：025-231-6986
e-mail : manabu_watanabe@hokuriku.maff.go.jp

お知らせ

農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）が制定されました。この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表することなどの綱紀保持対策を実施しています。

詳しくは、当省のホームページ（<http://www.maff.go.jp/j/supply/index.html>）をご覧ください。

提 案 書

1. 予定実証試験NO.	
2. 会社名	
3. 代表者名	
4. 担当者名	
5. 連絡先 電話番号 FAX メールアドレス	
6. 工法名	
7. 工法の特徴	
8. 日当たり施工量及び 標準施工単価 (材料費込み)	(例) 日当たり施工量＝ (m ² / 日, m / 日) 等 標準施工単価 (直接工事費) ＝ (円 / m ² , 円 / m) 等
9. その他 (注意事項等)	(例) 「本施工においては工事施工費用の他に〇〇費用 (特許使用料等) が必要である。」「本工法は当社及び〇〇協会に加盟している会社のみが施工できる工法である。」等、施工実施等における注意事項を記載願います。

(注意事項)

- ・ 公募を頂いた方に対し、別途、詳細な内容についてお聞きする場合がありますので、その際はよろしくお願いたします。

(別紙) 平成24年度 北陸農政局ストックマネジメント技術高度化事業 対策工法予定実証試験内容

1. 予定実証試験NO.	NO. 1 (開水路表面对策)	2. 実施予定者	信濃川水系土地改良調査管理事務所
3. 対策工法の用途	水流や土砂等の影響により、骨材が露出したコンクリート開水路の表面劣化部に対する補修対策（無機系被覆工法、有機系被覆工法、その他）		
4. 対策工法検証内容	対策工法の施工性・付着強度・粗度改善・耐久性等の他、現場条件を考慮した現地への適用性について検証		
5. 施工施設概要	現場打ち鉄筋コンクリート三面張り水路		
6. 施工予定数量	施工面積 約300m ² /1工法		
7. 施工予定施設	新潟県内の国営造成土地改良施設		
8. 施行条件	用水路は、通年通水であるが、施工のための断水は可能である。		
9. 提案書募集期間	H24年度 随時募集 (第1回締め切り平成24年 7月2日)		

1. 予定実証試験NO	NO. 2 (開水路目地対策)	2. 実施予定者	信濃川水系土地改良調査管理事務所
3. 対策工法の用途	水流、土砂等の影響により、摩耗・脱落等した開水路の目地劣化部に対する補修対策		
4. 対策工法検証内容	対策工法の施工性・付着強度・止水性・耐久性等の他、場条件を考慮した現地への適用性について検証		
5. 施工施設概要	現場打ち鉄筋コンクリート三面張り水路		
6. 施工予定数量	施工延長 約20m/1工法		
7. 施工予定施設	新潟県内の国営造成土地改良施設		
8. 施行条件	用水路は通年通水であるが、施工のための断水は可能である。		
9. 提案書募集期間	H24年度 随時募集 (第1回締め切り平成24年 7月2日)		

1. 実証試験	NO. 3 (開水路目地対策(水中施工))	2. 実施予定者	信濃川水系土地改良調査管理事務所
3. 対策工法の用途	水流、土砂等の影響により、摩耗・脱落等した開水路の目地劣化部に対する補修対策（水中施工）		
4. 対策工法検証内容	対策工法の施工性、経済性、耐久性の他、現場条件を考慮した現地への適用性について検証		
5. 施工施設概要	現場打ち鉄筋コンクリート三面張り水路、B4.9m×H2.75m等		
6. 施工予定数量	施工延長 約40m/1工法		
7. 施工予定施設	阿賀野川用水地区 右岸幹線水路		
8. 施行条件	用水路は断水不可能であり、水中施工が必要。飲料水として使用するため、施工中・施工後の水質に問題がないこと。		
9. 提案書募集期間	H24年度 随時募集 (第1回締め切り平成24年 7月2日)		